

# 山 弓 連

平成 20年

4月 発行

新年度に期待して 会長 天野 裕

何年かぶりに冬らしい冬を経験した2月も過ぎ、3月下旬から一気に暖かくなりました。この良い季節、弓友の皆様には斯道ますます精進のこととお喜び申し上げます。

昨年4月には会員諸氏からのご支援をいただき、日本武道館で開催された国際弓道連盟設立記念大会には山弓連からも約20名の方々が参加されました。同連盟の予定では期日未定ながら来年度(平成21年度)に第1回世界弓道選手権大会が東京で開催されます。これまでオリンピック種目に無いという理由もあり、国民体育大会での参加人数の削減が為されてきた弓道種目ですが、徐々に海外の弓友が増加し、国際大会の実施回数や参加国・参加人員の増加に伴い、マイナーな競技団体からの脱出を促し、やがてオリンピック種目へと夢は膨らんでいるところです。

しかしながら、翻って我が山弓連を見ると、昨年度の会費値上げ等の理由からでしょうか、会員数の減少が見られ誠に残念に思います。弓道は自分の生ある間の楽しみで終わらせるには余りに勿体ない文化です。全国的な少子高齢化の現象には中々歯止めが掛かりませんが、だからこそ若年層に対する伝統文化の伝承努力は高齢者の義務とも言えます。各支部の道場は身近な活動拠点であり、次世代への橋渡しを確保する場としても重要な役割を担っています。日常活動の場として今後とも更なる活用を期待しております。それと同時に若い世代の活躍を期待して、自ら大きい組織への参加と活動を範示して欲しいものです。地域での組織があり、県の組織があり、関東へ、全国へ、そして世界の組織へと繋がってこそ文化の伝承は確実で大きなものになるはずです。周囲の弓友へ連盟参加への勧誘を強く期待

しております。

今年度は、国民体育大会への参加チームを決める関東ブロック大会が8月23・24日に山弓連が主管して小瀬武道館で予定されております。国体弓道競技会への参加人数が年々減らされてきており、全国9ブロック中、人口が多い関東ブロックでも今年から参加できるチーム数が次のように制限されました。即ち、成年男子5、成年女子4、少年男子3、少年女子3という枠になりました。従ってこれら4種別全てを一都七県の中なら選出するための予選会であります。この枠に入ったチームだけが10月に大分県で行われる国民体育大会への出場権を得ます。関東各都県のそれぞれの精鋭達はその日の為に日々練習に励んでおります。山弓連の選手強化部にも地元開催の予選会に臨むため、既に例年になく多くの弓友が強化練習に参加しており、予選通過への期待が高まっているところです。会員諸氏には運営役員をもお願いしているところですが、大会当日には多くの方々の応援を期待しております。

昨年の行事の中では、指導部の実技講習会の回数が増加したにも拘わらず、参加者数が予想外に少ないのが目立ちました。言うまでもなく日本弓道は的中本位のものでは無く、体配をも含めた修練全体を通して人格の完成を目指しています。確かに的中が無ければ楽しくもなく、長く続ける意欲も減退してしまいがちです。しかし単なる的中ではなく、正射正中を目指した技術修練と礼に即した体配の修練が射手の射品射格の向上へと繋がり、その努力の過程こそが人格の向上へと導いてくれる道でありましょう。実技講習の意義を再確認の上、研修参加への意欲を高揚させて下さるようお願い致します。

また、審査を受ける方々には、その意欲と努力に感銘を受けておりますが、一方で長年の間、受審されていない方々も大勢いるように思います。ただ高位の段位や称号が欲しいと云うのではなく、日々の研鑽目標と努力の積み重ねがあるならば、己の進歩の程度を公平な他人の目で測ってもらおうという謙

虚な姿勢に大きな意義があると思います。積極的な受審をお勧め致します。

段位別選手権大会、遠的選手権大会、県体育祭り弓道大会、国体選手壮行支部対抗射会、ねんりんピック山梨大会、山日・YBS杯争奪選手権大会、納射会、初射会、その他に全日本選手権大会や関東選抜選手権大会などの予選会等々、県内での競技会は恒例の行事になっていますが、「どうせ自分が参加しても入賞はできないだろうから」という思い込みで参加をためらってはいないでしょうか。他の地域の方々と触れ合い、交流する中で弓道ならではの新たな喜びや楽しみが得られる筈です。各地域の先達の活躍ぶりや情報を得て、己の精進への反省や刺激が得られるのは、県レベルの大会や県外での大会に積極的に参加する人のみに許される特権でしょう。まずは県内の各競技会への積極的な参加を期待しております。

今年度も会員諸氏にとって弓道精進が人生をより楽しく豊かなものになる年でありますよう念じております。 <心も体もまっすぐに>

### \*\*\*山弓連役員交代\*\*\*

3月の総会で、京ヶ島副会長が、高体連弓道部委員長を退き、五味光仁さんと交代したのを受け、五味光仁さんが3月末山弓連副会長に就任しました。

### \*\*\*山弓連・表彰\*\*\*

第8回全国弓道遠の大会（成人大会）  
優 勝 河西映里（南アルプス市）  
5位入賞 深澤有紀（南アルプス市）  
平成19年第4回全国中学生弓道大会  
男子団体優勝・増穂中学校  
井上潤一 千頭和遼馬 野田一之 折居雅也  
男子個人第5位・滝口宏樹（都留第二中学校）  
(総会資料抜粋)

### 全国ねんりんピック・勤労者弓道大会予選

平成20年4月6日 小瀬武道館弓道場  
全国ねんりんピック（鹿児島県薩摩川内市

平成20年10月25日～28日）

ねんりん 代表 中村秀子（笛吹）佐野辰巳（南部）内藤幸雄（甲府）小林睦美（北杜）小澤重平（増穂）補欠男子・内藤成富（北杜）予備男子・金子力（笛吹）補欠女子・梶本かぬ代（増穂）予備女子・初鹿絹代（甲府）

全国勤労者弓道大会（新潟市平成20年6月6日代表 横河電機A TEPCO山梨A ～8日）

### 大法師桜祭り県下弓道大会 平成20年4月6日

第30回大会は好天に恵まれ満開の桜の下盛大に執り行はれました。今年は信玄公まつりの影響を受けたのか例年より参加者が少なく70名余りだったため存分楽しんでもらおうと4ツ矢3回と欲を出しましたが、参加者の皆さん弦音打ち起し等を心得ていて試合運びも順調に進み3時半には滞りなく終了しました。

試合内容は総体的に手に汗するような緊迫した中りが展開され楽しい中にも真剣な眼差しが印象的で充実した大会となりました。又各支部長様には大会通知等大変ご面倒をおかけいたしました、この場をお借りしてお礼申し上げます。 記 鰻沢支部長 立川 賢 成績 団体の部

第1位 南アルプス24中

中込康之 長沢和之 中込 実

第2位 富士吉田市 21中

渡辺 大 斉藤勝利 白須吉人

第3位 甲府市 20中

細野晃史 大野陽子 竹村榮壽

個人の部 第1位 白須吉人 11中（富士吉田）

第2位 中込 実 10中（南アルプス）

第3位 細野晃史 9中（甲府）

『編集後記』今年度1回目の発行になります、日頃会報「山弓連」発行にご協力ありがとうございます。今年度も豊富な記事を掲載したいと思っています、山弓連会員の皆様の貴重な記事をお待ちしております、是非ご寄稿下さい。

住所 甲府市湯村1丁目7-5-406 Fax055-252-1938

メール [s-kouhei@maroon.plala.or.jp](mailto:s-kouhei@maroon.plala.or.jp)

いずれでも結構です、お送り下さい。（新藤）